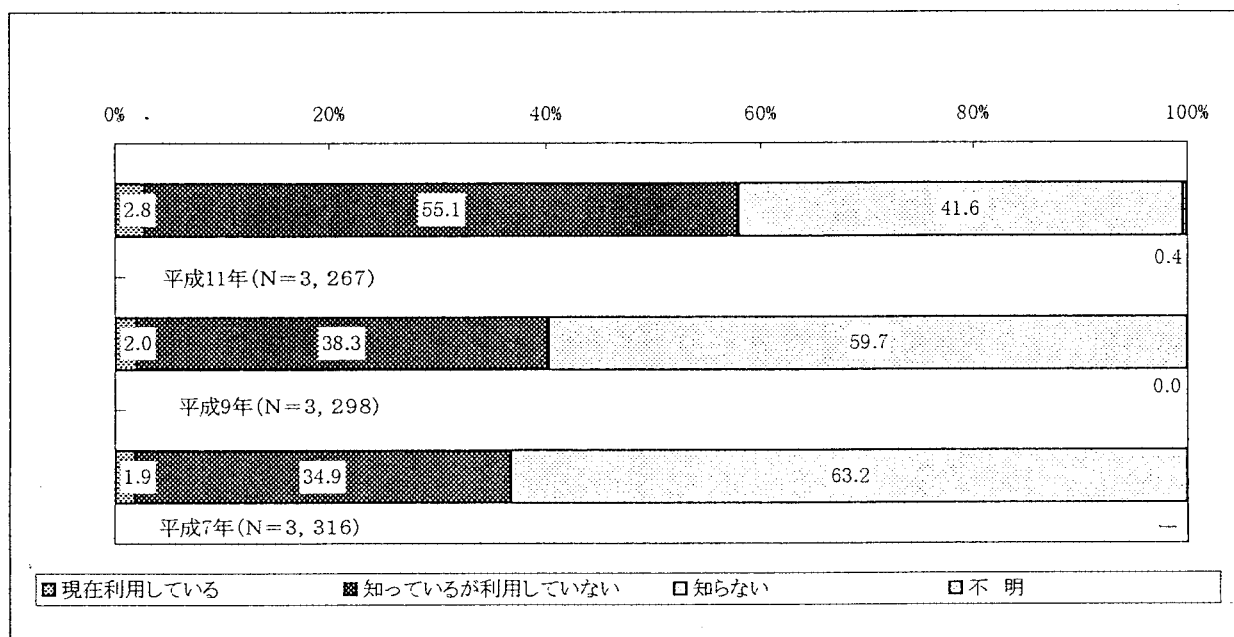


これからの金融取引

1. ホームバンキング

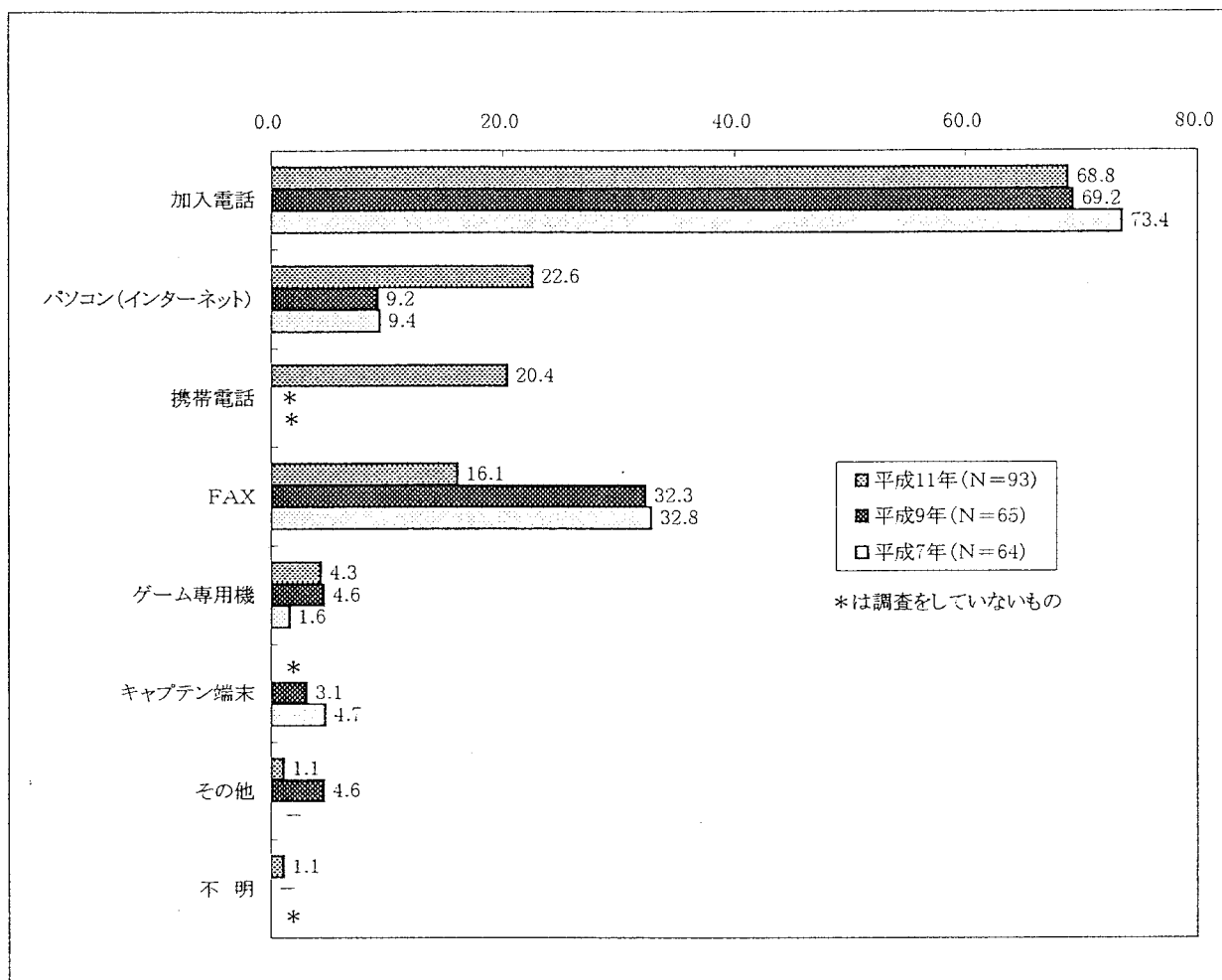
問 16 ホームバンキング・サービスの認知等

自宅での金融取引ができるホームバンキング・サービスについては、「現在利用している」が2.8%、「知っているが利用していない」が55.1%で、周知率は57.9%となっている。前回の調査結果と比較すると、利用率はほとんど増えていないが、周知率は17ポイント以上も増えている。



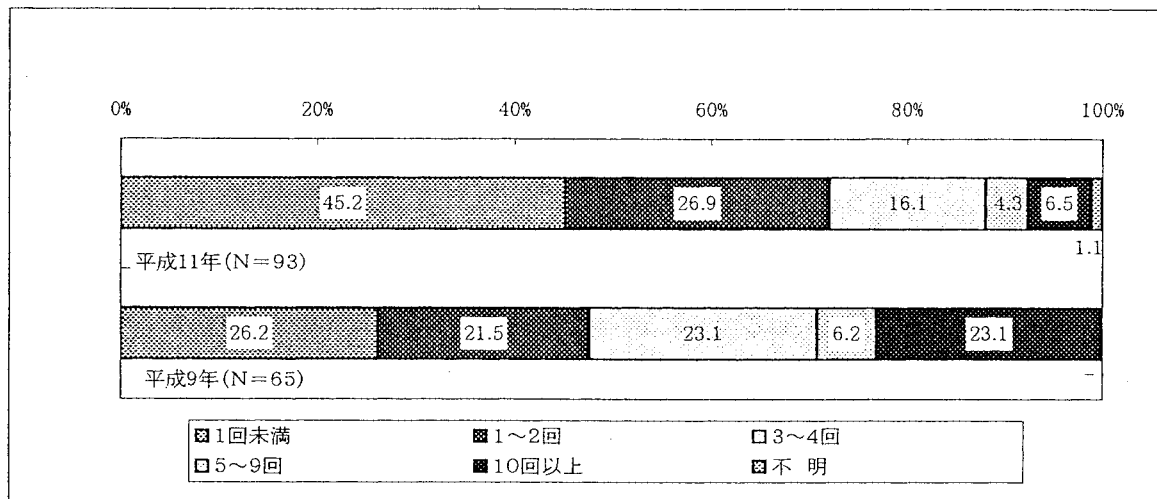
問 16 - 付問 1 使用端末

ホームバンキング・サービスを利用している人に使用端末を聞いたところ、「加入電話」が68.8%と最も多く、次いで、「パソコン」(22.6%)、「携帯電話」(20.4%)となっている。



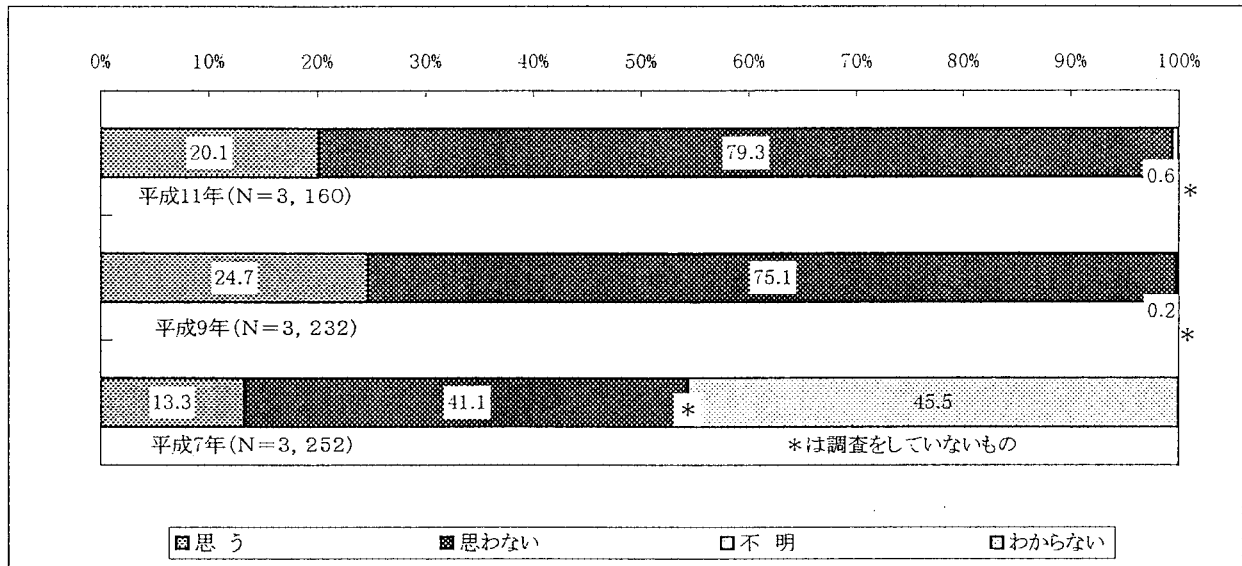
問 16 - 付問 2 平均利用回数

ホームバンキング・サービスを利用している人に1カ月あたりの平均利用回数を聞いたところ、「1回未満」が45.2%と半数近く、以下、「1～2回」が26.9%、「3～4回」が16.1%であった。



問 16 - 付問 3 今後ホームバンキングを利用したいか

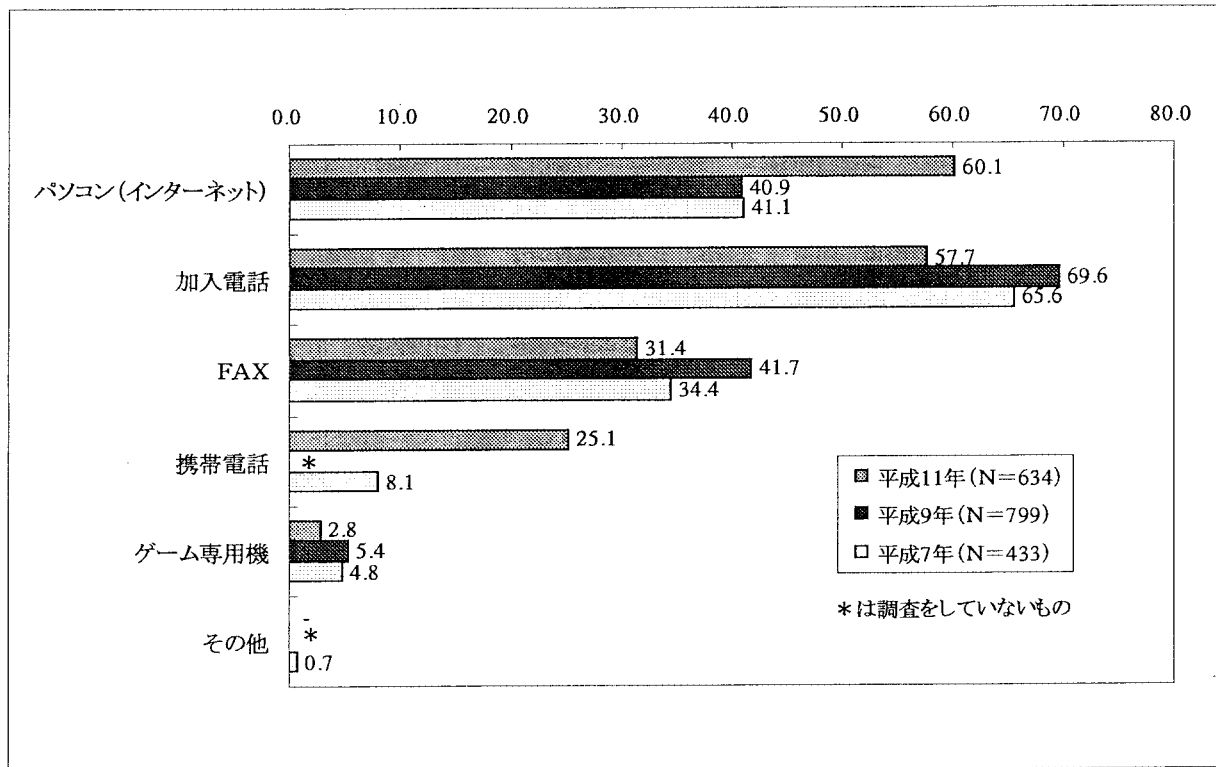
ホームバンキング・サービスを「知っているが利用していない」または「知らない」とい
人に、今後のホームバンキングの利用意向を聞いたところ、利用したいと「思う」という
回答は 20.1%であった。



問 16 - 付問 4 使用したい端末

今後、ホームバンキングを利用したいと思っている人に、使用したい端末を聞いたところ、「パソコン」(60.1%)と「加入電話」(57.7%)がともに6割前後で、次いで、「FAX」が31.4%となっている。

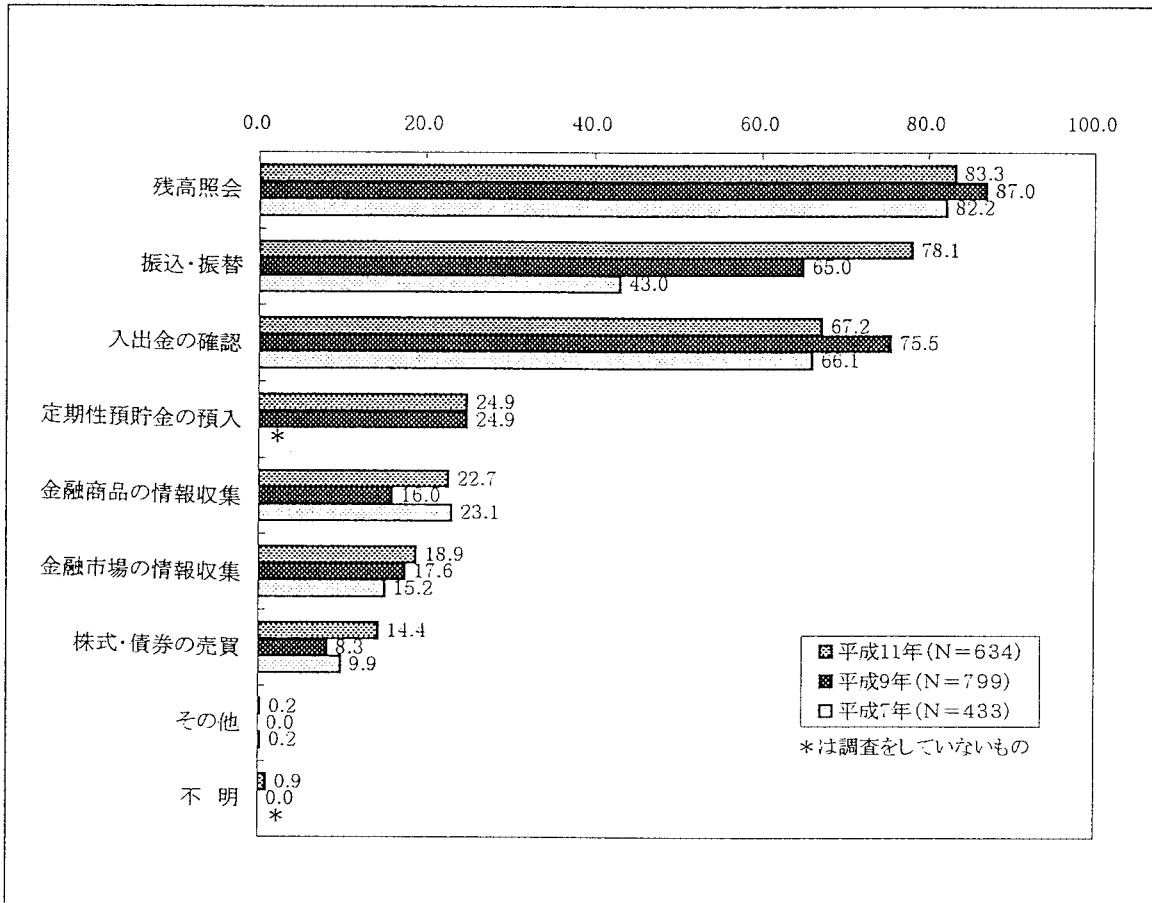
前回の調査結果と比較すると、「加入電話」と「FAX」は10ポイント以上減少し、逆に、「パソコン」が20ポイント近く増加している。



問 16 - 付問 5 利用したいサービス

ホームバンキングを利用したいと思っている人に、利用したいサービスを聞いたところ、「残高照会」(83.3%)、「振込・振替」(78.1%)、「入出金の確認」(67.2%)などが上位にあげられている。

前回の調査結果と比較すると、これら上位では「残高照会」と「入出金の確認」が減少し、「振込・振替」が僅かに増加した。

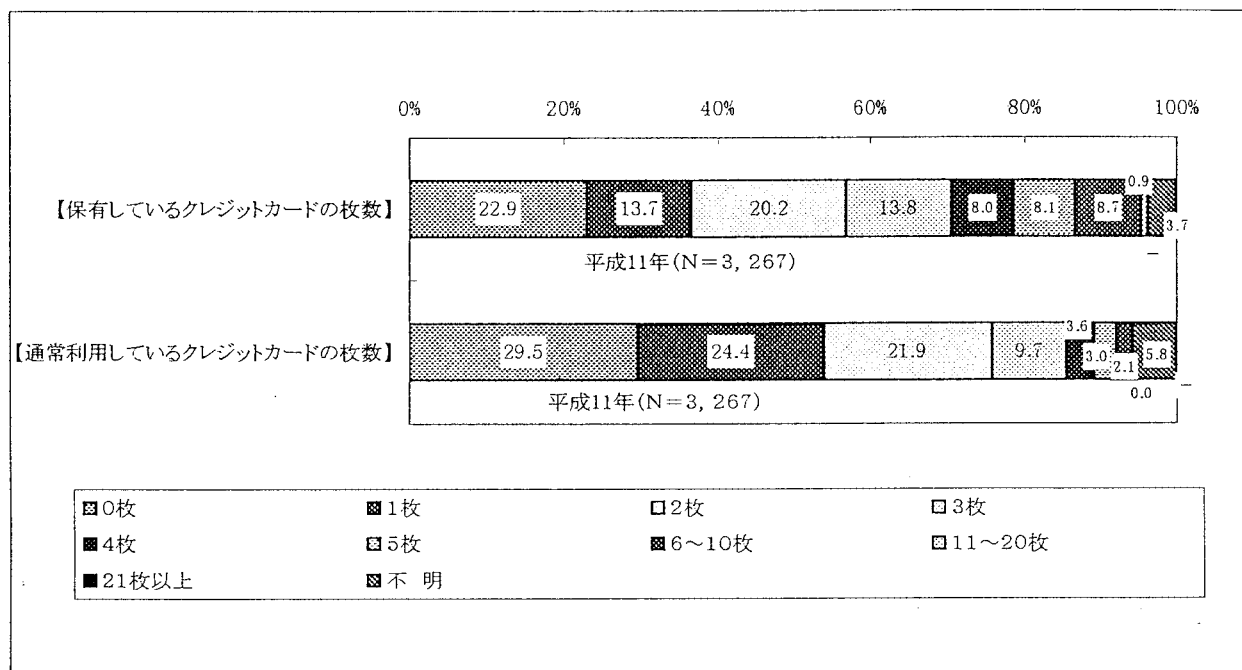


2. クレジット・デビットカード

問 17、問 17-付問1 保有・利用しているクレジットカードの枚数

現在、家族全体で保有しているクレジットカードの枚数は「0枚」(22.9%)、「1枚」(13.7%)、「2枚」(20.2%)、「3枚」(13.8%)で、「4枚以上」は25.7%となっており、平均枚数は2.56枚である。

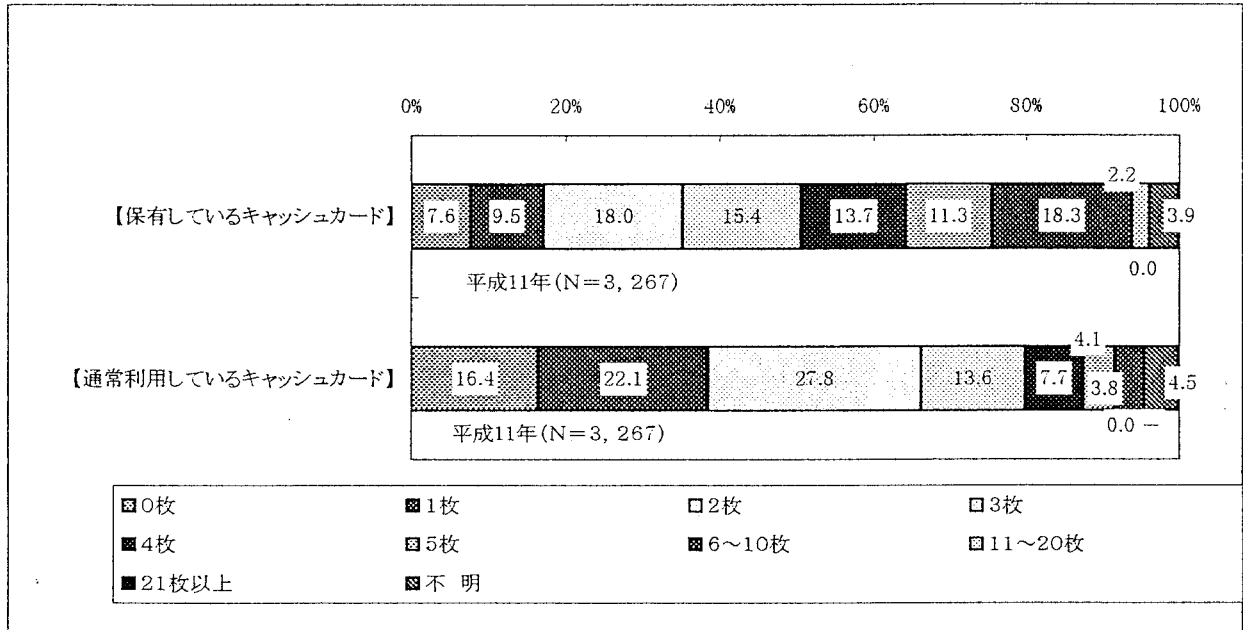
そのうち、家族が通常しているクレジットカードの枚数は「0枚」(29.5%)、「1枚」(24.4%)、「2枚」(21.9%)、「3枚」(9.7%)で、「4枚以上」は8.7%となっており、平均枚数は1.51枚である。



問 18、問 18 - 付問 1 保有・利用しているキャッシュカードの枚数

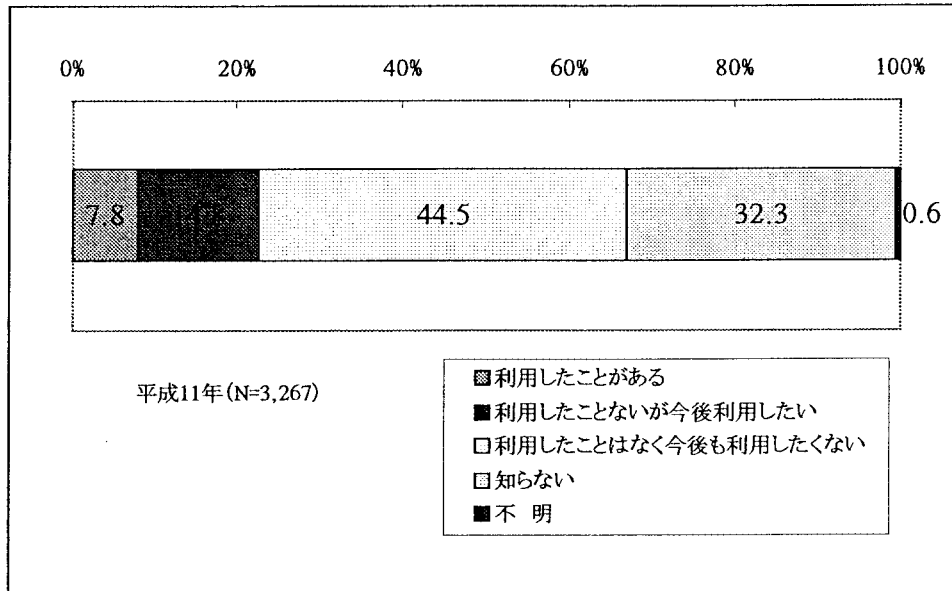
現在、家族全体で保有しているキャッシュカードの枚数は「0枚」(7.6%)、「1枚」(9.5%)、「2枚」(18.0%)、「3枚」(15.4%)、「4枚」(13.7%)、「5枚」(11.3%)で、「6枚以上」は20.5%となっており、平均枚数は3.84枚である。

そのうち、家族が通常利用しているキャッシュカードの枚数は「0枚」(16.4%)、「1枚」(22.1%)、「2枚」(27.8%)、「3枚」(13.6%)、「4枚」(7.7%)、「5枚」(4.1%)で、「6枚以上」は3.8%となっており、平均枚数は2.06枚である。



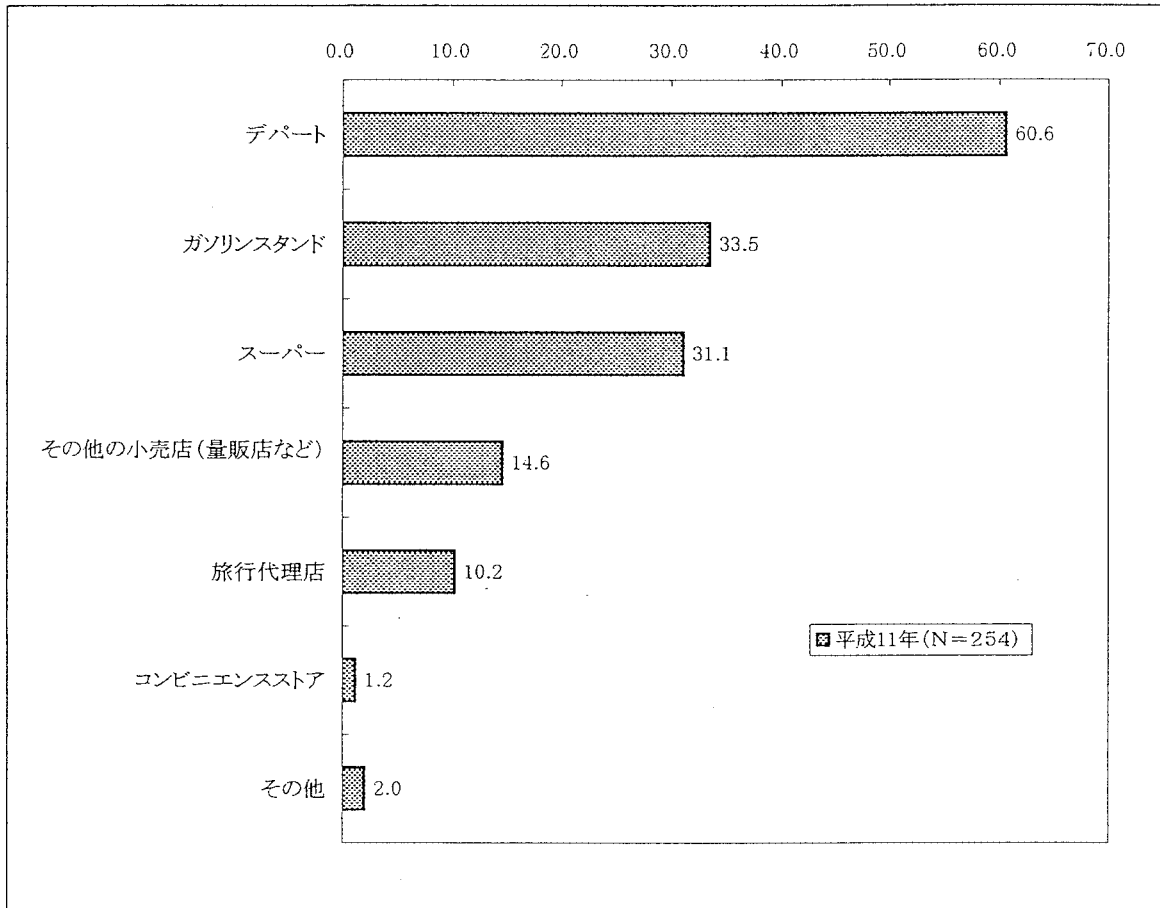
問 18 - 付問 2 デビットカードの認知

デビットカード・サービスの利用経験については、「利用したことがある」が 7.8%、「利用したことはないが今後利用したい」は 14.8%、「利用したことはなく今後も利用したくない」は 44.5%となっている。



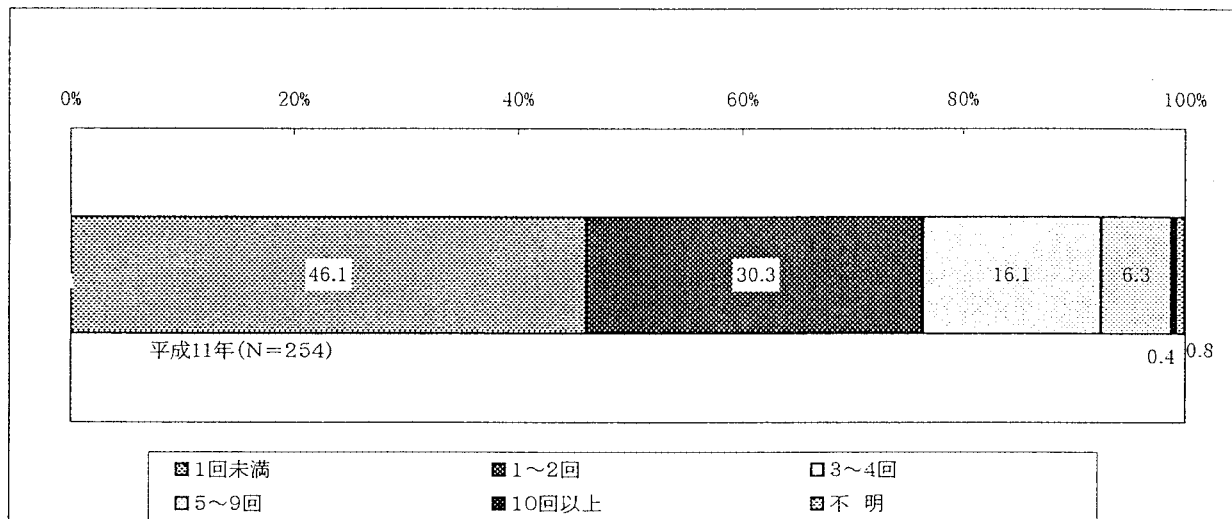
問 18 - 付問 3 利用目的

デビットカード・サービスを利用したことがある人に、利用した場所を聞いたところ、「デパート」(60.6%)が最も多く、次いで、「ガソリンスタンド」(33.5%)、「スーパー」(31.1%)の順となっている。



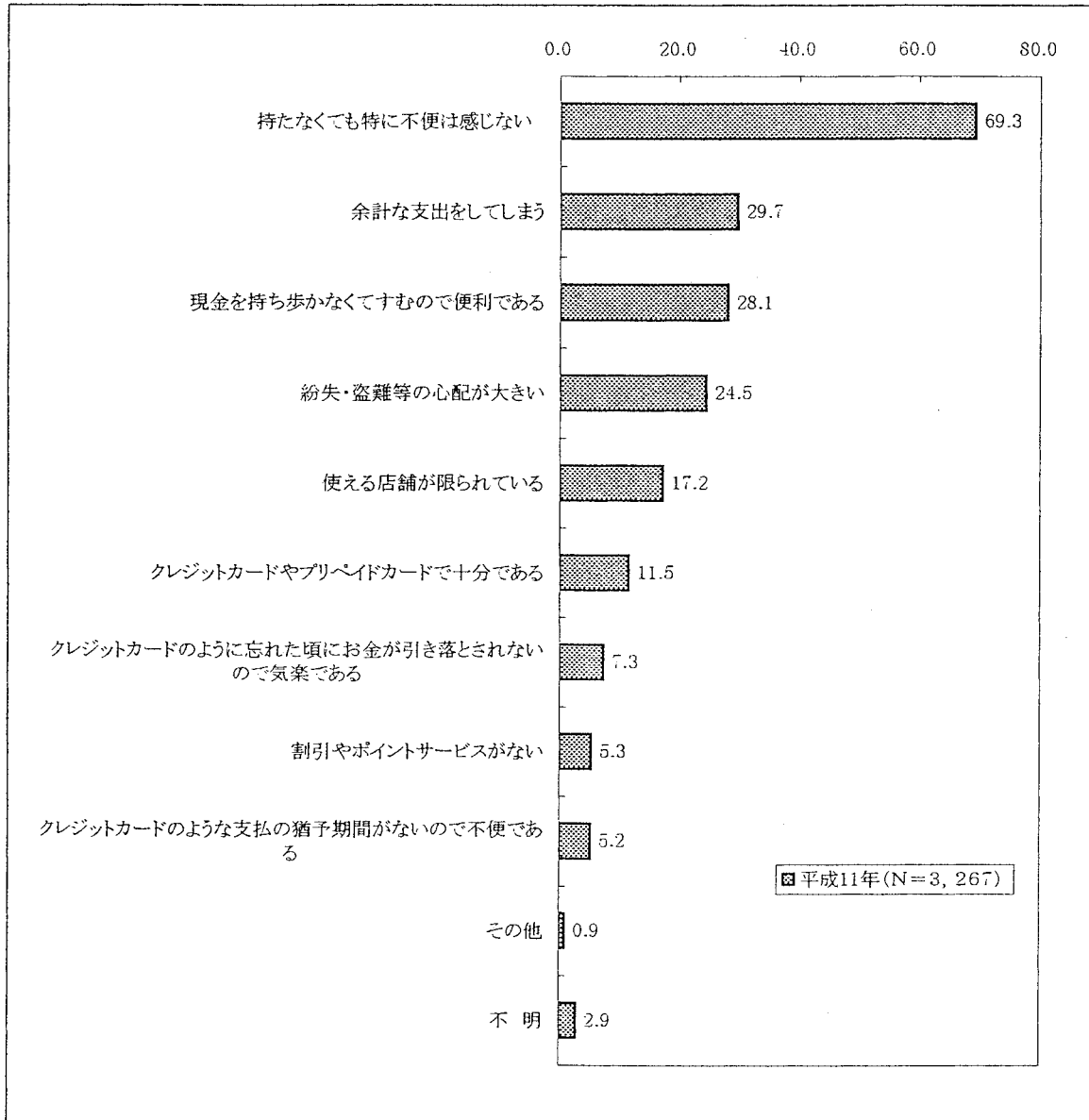
問 18 - 付問 4 利用頻度

デビットカード・サービスを利用したことがある人に、1か月の平均利用回数を聞いたところ、「1回未満」(46.1%)、「1～2回」(30.3%)となっており、「3回以上」は22.8%である。



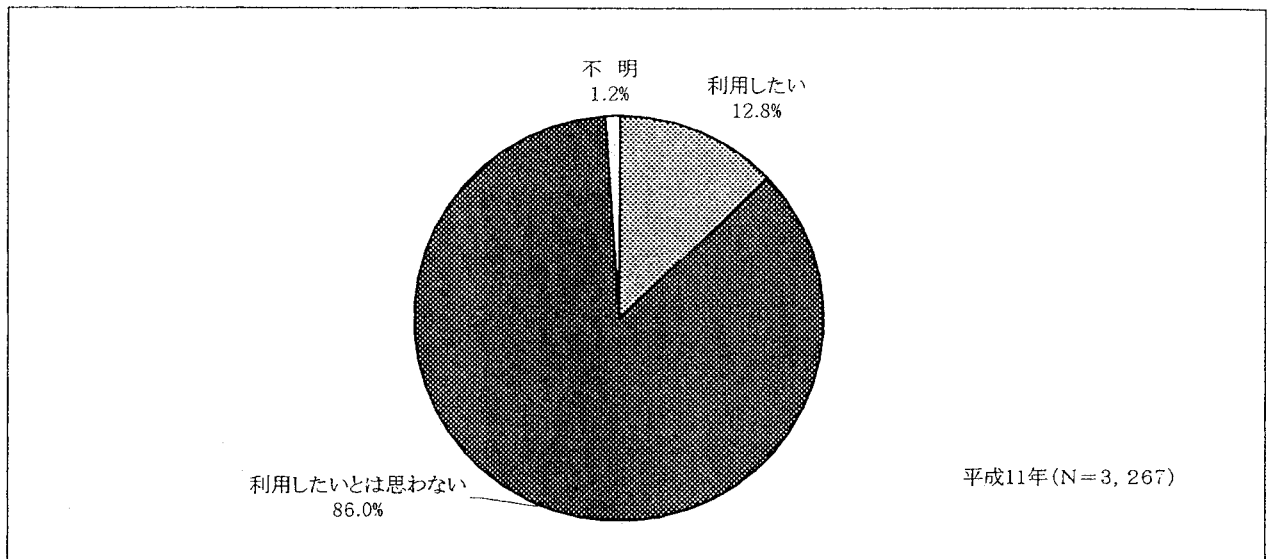
問 18 - 付問 5 デビットカードサービスに対する考え

デビットカードサービスについての考えを聞いたところ、「持たなくても特に不便は感じない」(69.3%) が最も多く、次いで、「余計な支出をしてしまう」(29.7%)、「現金を持ち歩かなくてすむので便利である」(28.1%)、「紛失・盗難等の心配が大きい」(24.5%) などが続いている。



問 18 - 付問 6 キャッシュアウトの利用意向

デビットカード・サービスが利用できる店舗において、キャッシュアウトが利用できるようになった場合の利用意向については、「利用したい」という人が12.8%であった。

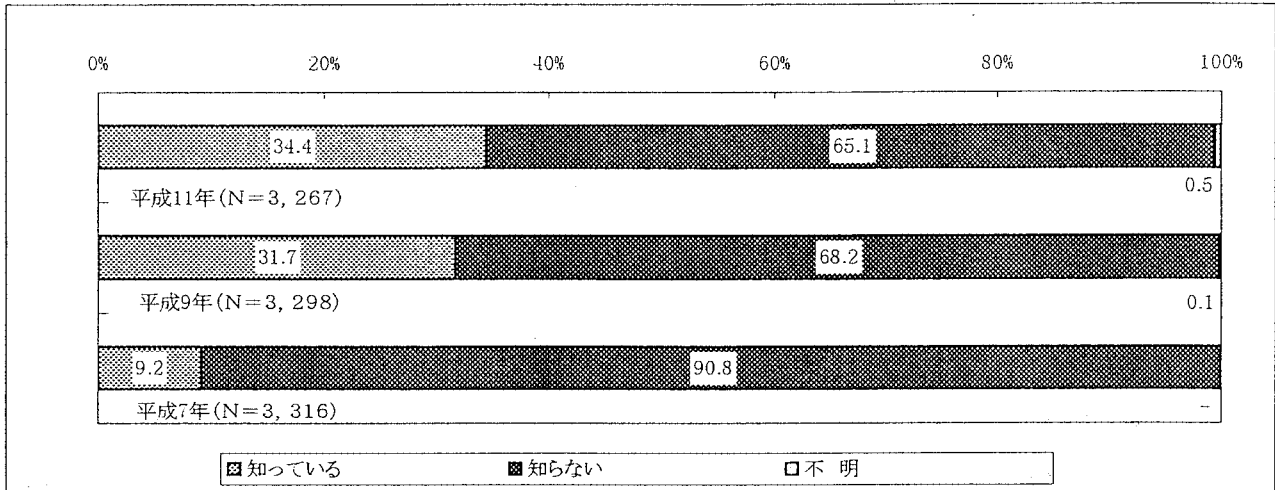


3. 電子マネー

問 19 電子マネーの実験や実用化についての認知

電子マネーの実用化について、「知っている」という人は 34.4%と 3 人に 1 人の割合となっている。

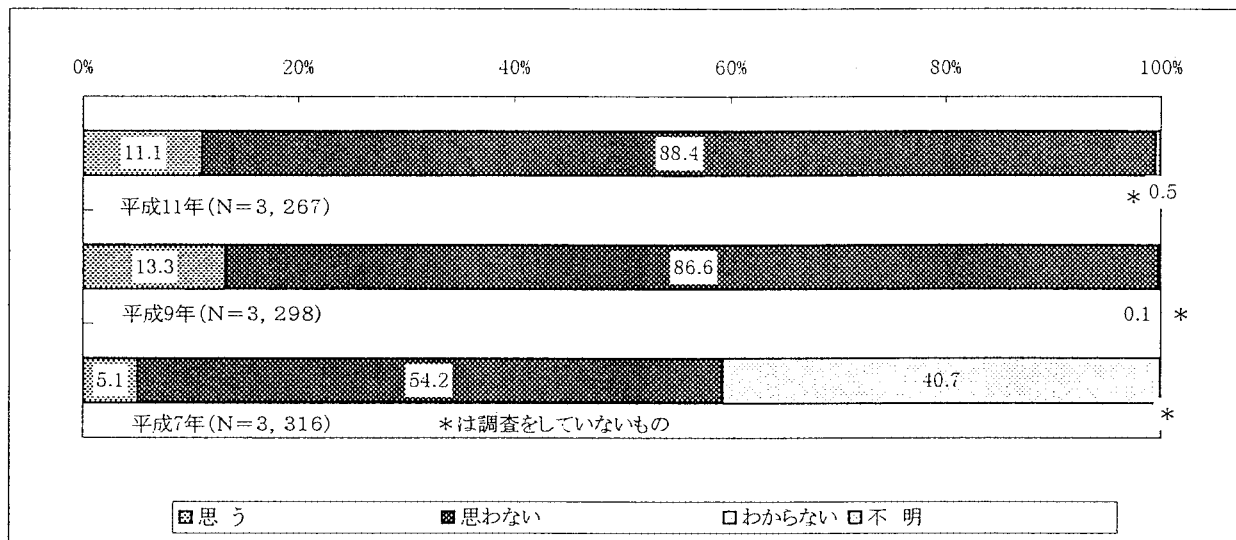
過去 2 回の調査結果と比較すると、「知っている」という人が次第に増えてきている。



問 19 - 付問 1 今後電子マネーを利用したいか

今後、電子マネーを利用したいかどうかについては、利用したいと「思う」という回答が11.1%となっている。

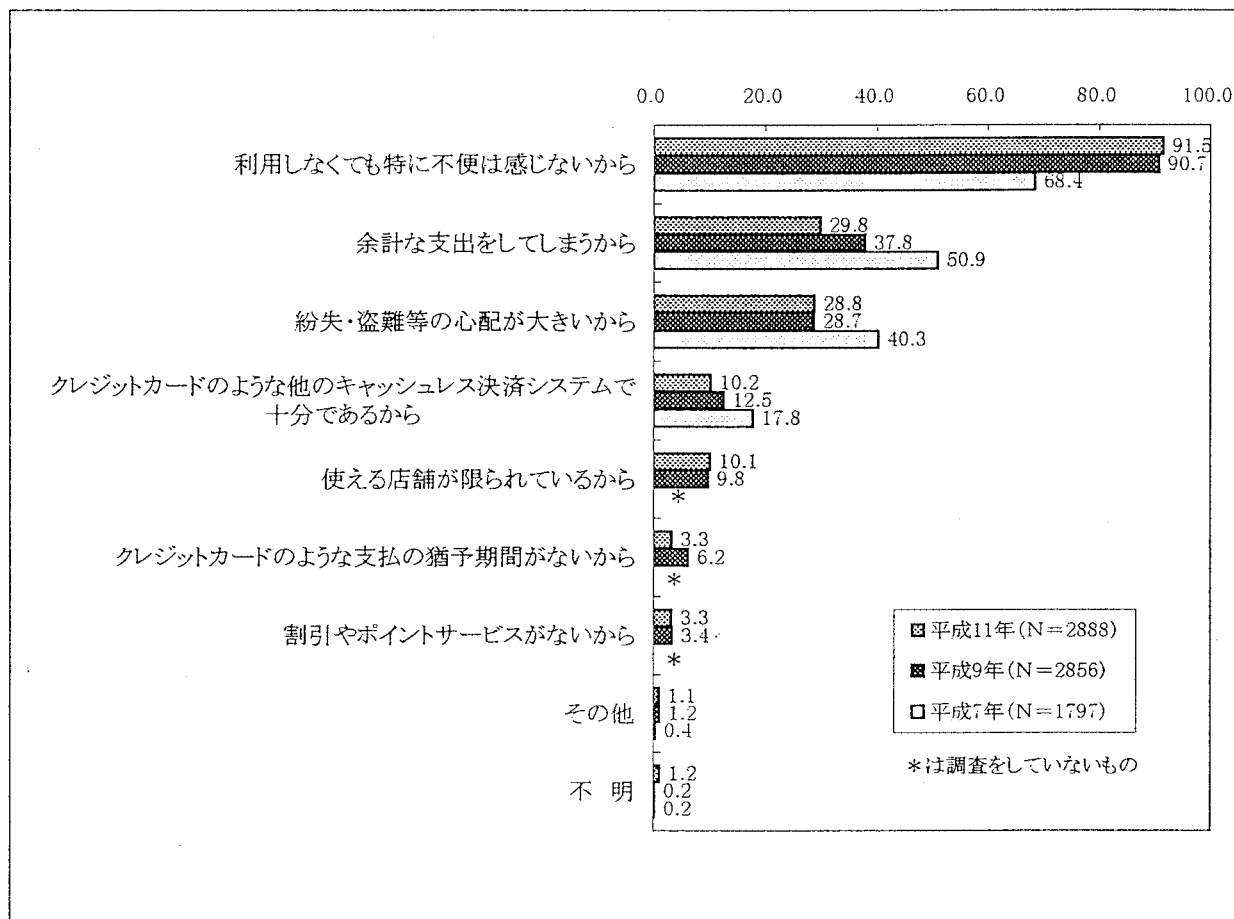
前回の調査結果と比較すると、利用意向を示す人は若干減少している。



問 19 - 付問 2 利用したくない理由

電子マネーを利用しようと思わない理由については、「利用しなくても特に不便は感じないから」(91.5%)の割合が特に高い。以下、「余計な支出をしてしまうから」(29.8%)「紛失・盗難等の心配が大きいから」(28.8%)となっている。

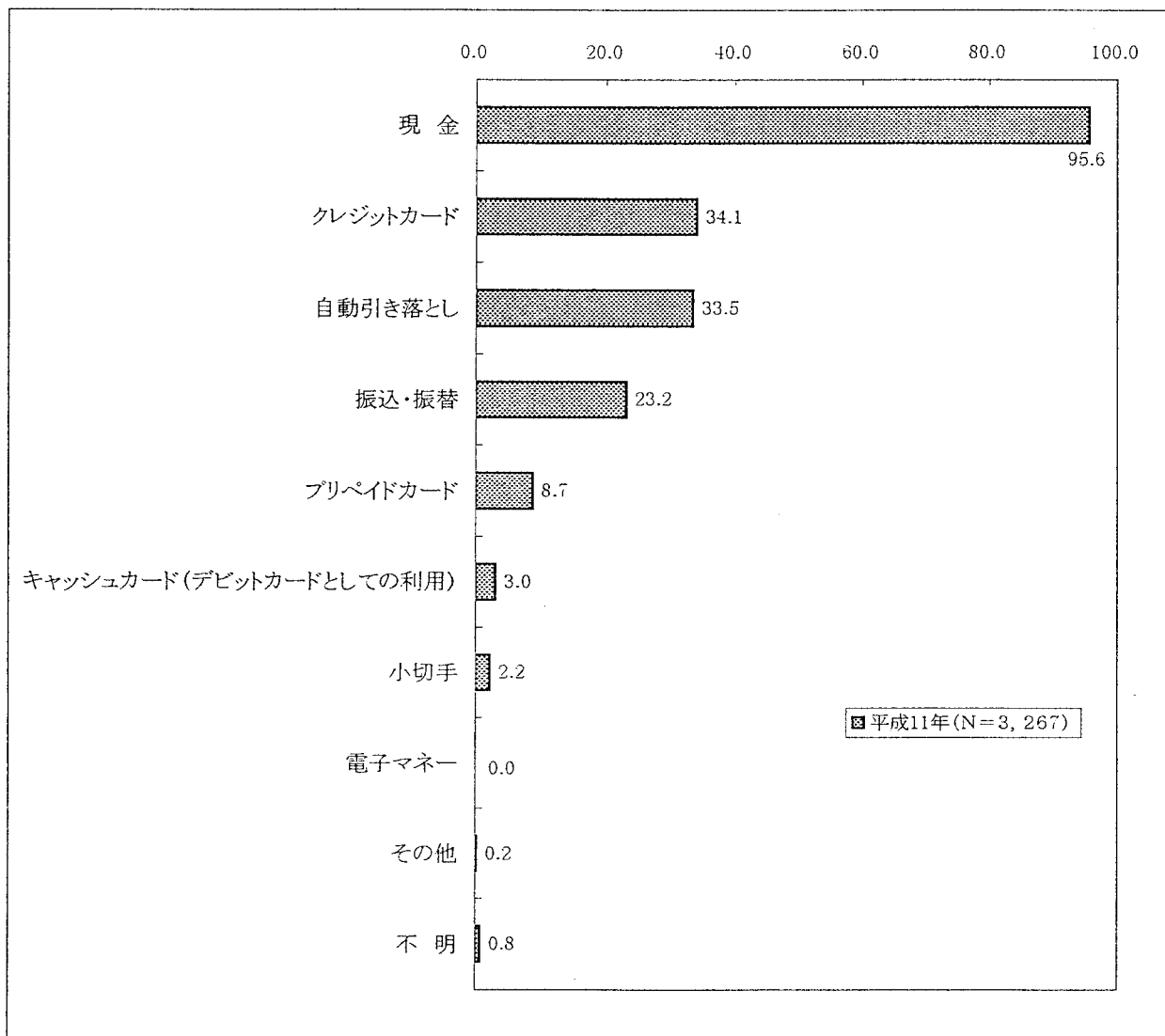
これは前回の調査結果と同様な傾向である。



4. 決済手段

問 20 支払い手段として利用しているもの

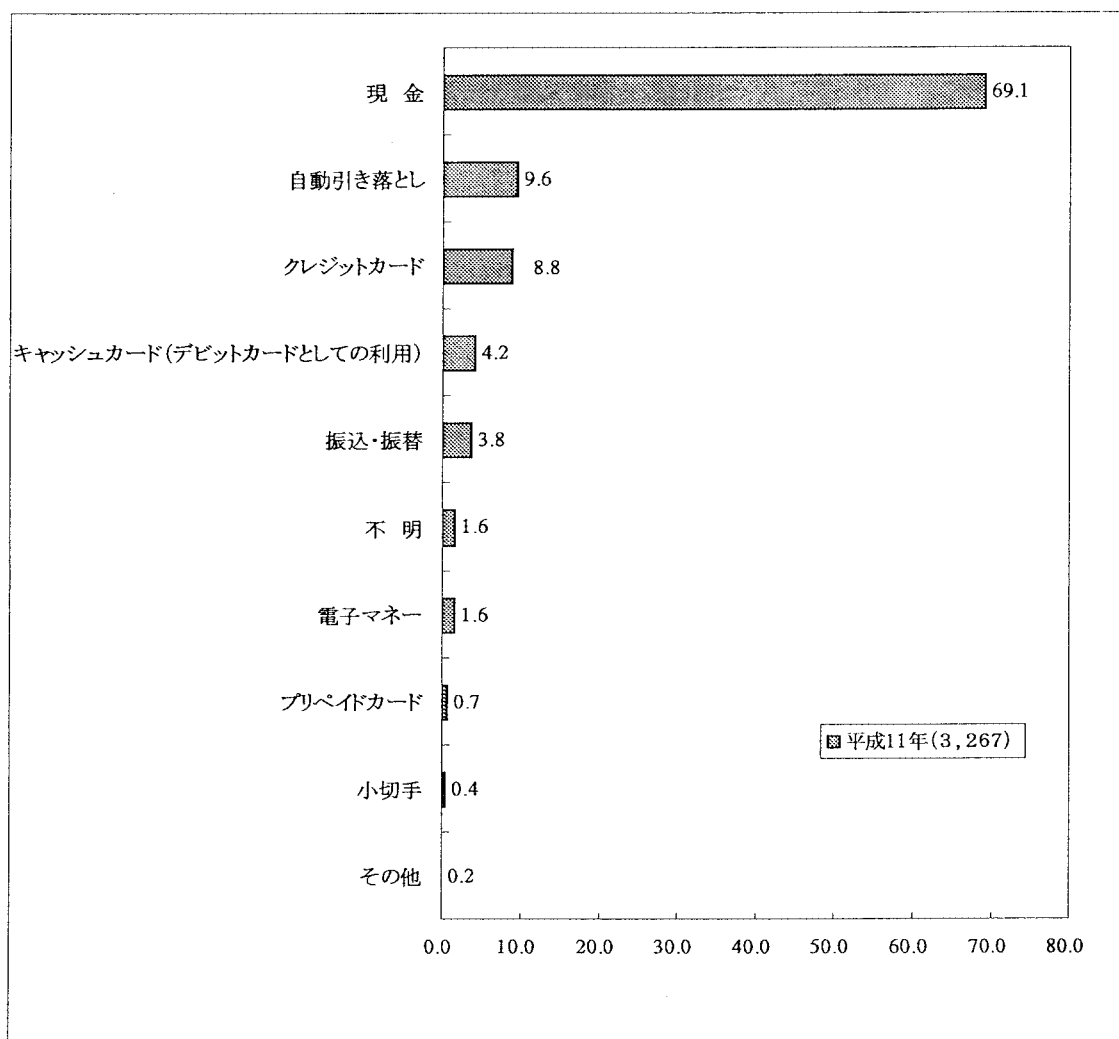
現在、物品・サービス購入の際の決済手段として利用しているのは、「現金」(95.6%)が断然多く、以下、「クレジットカード」(34.1%)、「自動引き落とし」(33.5%)、「振込・振替」(23.2%)となっている。



問 20 - 付問 1 今後最も利用したい支払い手段

最も利用したい支払い手段としては、「現金」(69.1%)が他と比べて断然多くなっており、以下、「自動引き落とし」(9.6%)、「クレジットカード」(8.8%)となっている。

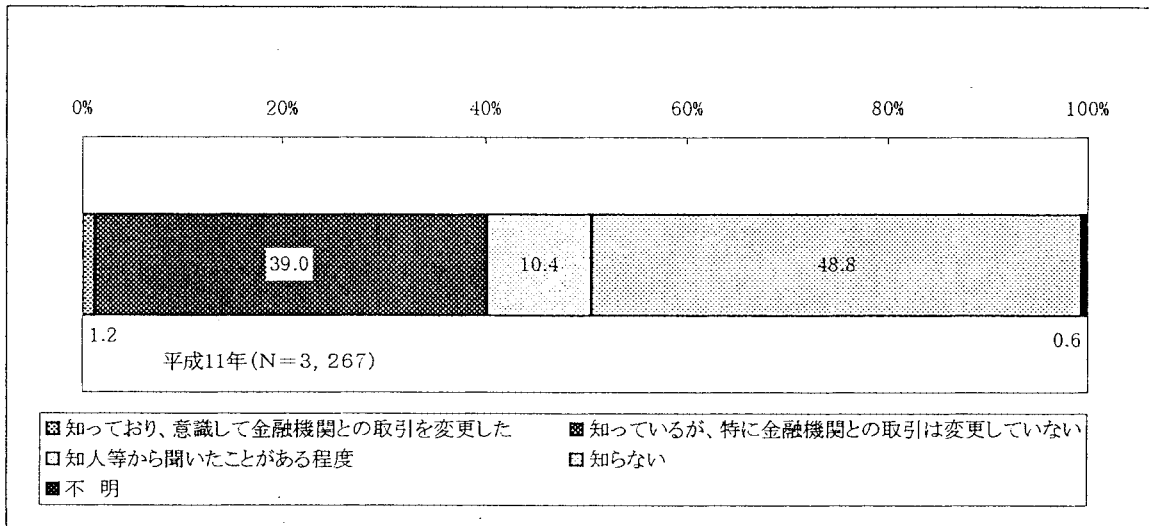
世帯年収別にみると、「現金」は比較的低収入の世帯で、「クレジットカード」や「自動引き落とし」は比較的高収入の世帯で利用意向率がやや高くなっている。



5. 金融ビッグバン

問 21 日本版ビッグバンの動きについての認知

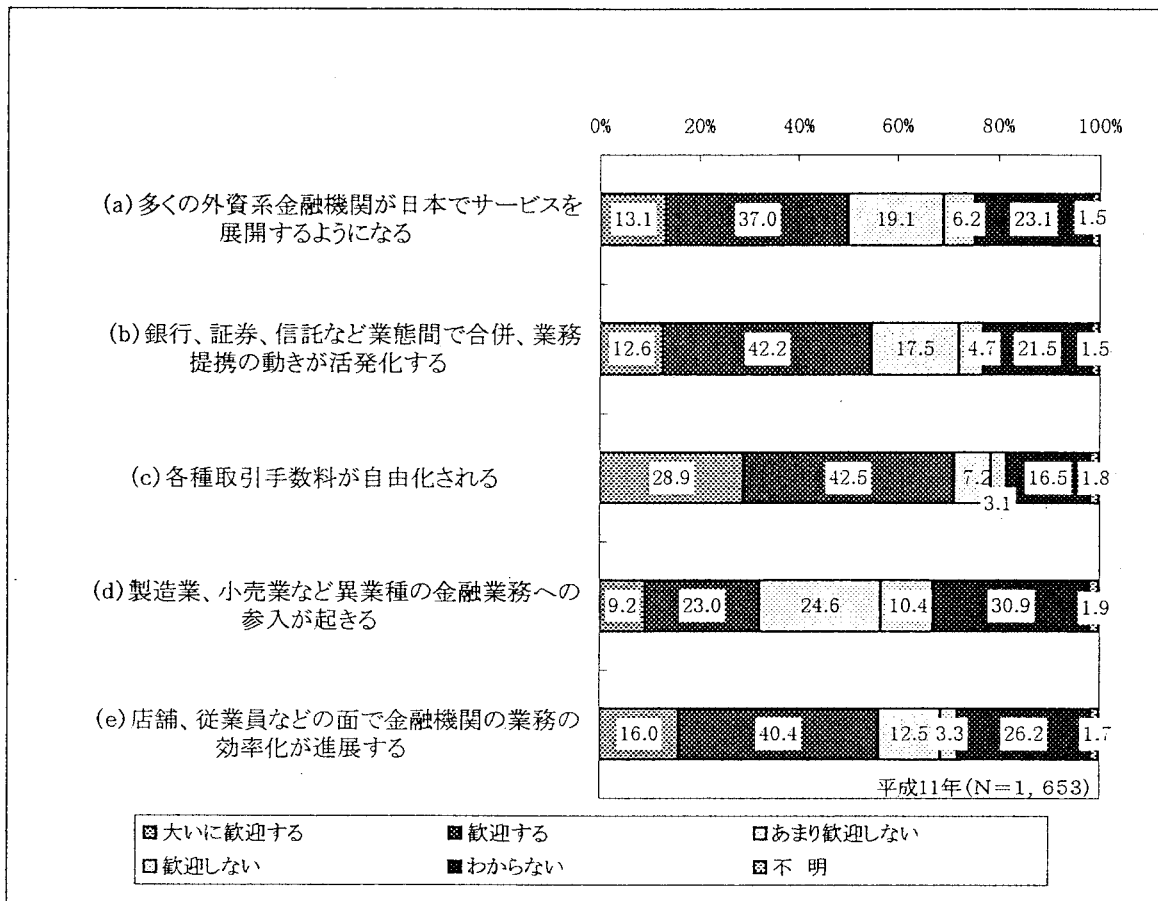
『日本版金融ビッグバン』の動きについては、「知っており、意識して金融機関との取引を変更した」という回答が1.2%、「知っているが、特に金融機関との取引は変更していない」という回答が39.0%で、“知っている”が4割である。また、「知人等から聞いたことがある程度」という回答が10.4%あり、周知度としては半数に達している。



問 21 - 付問 1 金融ビッグバンで起こる可能性のあること

「金融ビッグバン」で起きる可能性があるいくつかのことについて、歓迎するかどうかを聞いた。

- (a) まず、『多くの外資系金融機関が日本でサービスを展開するようになる』ということについては、「大いに歓迎する」が 13.1%、「歓迎する」が 37.0%で、これらを合わせた“歓迎する”が 50.1%である。一方、「あまり歓迎しない」は 19.1%、「歓迎しない」は 6.2%で、これらを合わせた“歓迎しない”は 25.3%である。
- (b) 次に、『銀行、証券、信託など業態間で合併、業務提携の動きが活発化する』ということについては、「大いに歓迎する」が 12.6%、「歓迎する」が 42.2%で、これらを合わせた“歓迎する”が 54.8%である。一方、「あまり歓迎しない」は 17.5%、「歓迎しない」は 4.7%で、これらを合わせた“歓迎しない”は 22.2%である。
- (c) 『各種取引手数料が自由化される』ということについては、「大いに歓迎する」が 28.9%、「歓迎する」が 42.5%で、これらを合わせた“歓迎する”が 71.4%である。一方、「あまり歓迎しない」は 7.2%、「歓迎しない」は 3.1%で、これらを合わせた“歓迎しない”は 10.3%である。
- (d) 『製造業、小売業など異業種の金融業務への参入が起きる』ということについては、「大いに歓迎する」が 9.2%、「歓迎する」が 23.0%で、これらを合わせた“歓迎する”が 32.2%である。一方、「あまり歓迎しない」は 24.6%、「歓迎しない」は 10.4%で、これらを合わせた“歓迎しない”は 35.0%である。
- (e) 『店舗、従業員などの面で金融機関の業務の効率化が進展する』ということについては、「大いに歓迎する」が 16.0%、「歓迎する」が 40.4%で、これらを合わせた“歓迎する”が 56.4%である。一方、「あまり歓迎しない」は 12.5%、「歓迎しない」は 3.3%で、これらを合わせた“歓迎しない”は 15.8%である。

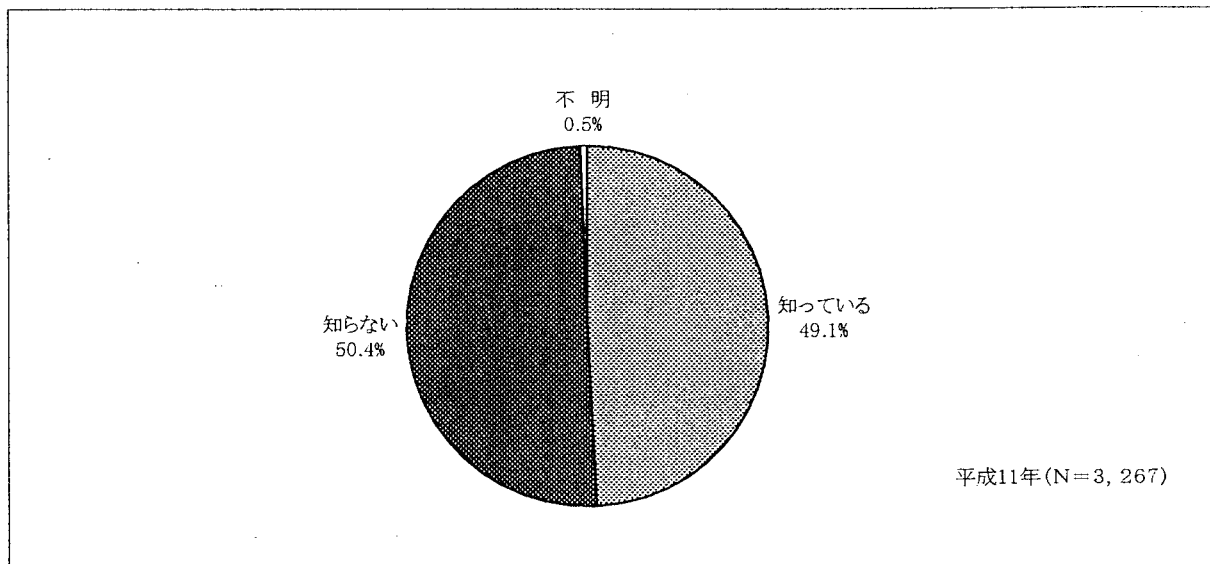


6. ペイオフ

問 22

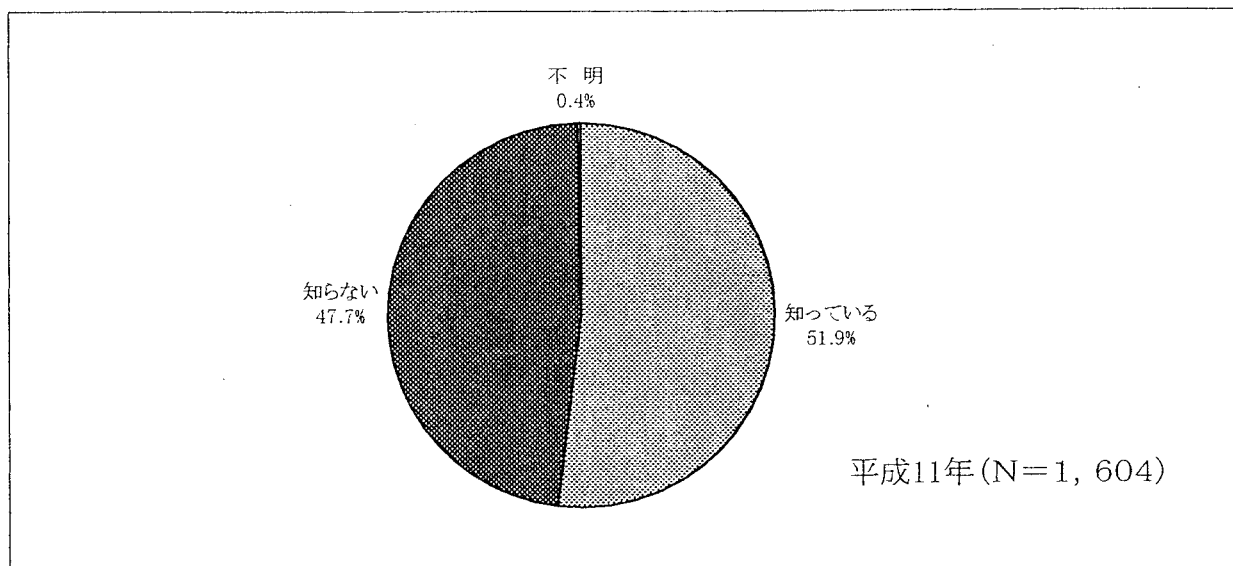
(1) ペイオフ解禁の認知

『ペイオフ解禁』については、「知っている」が49.1%と半数である。



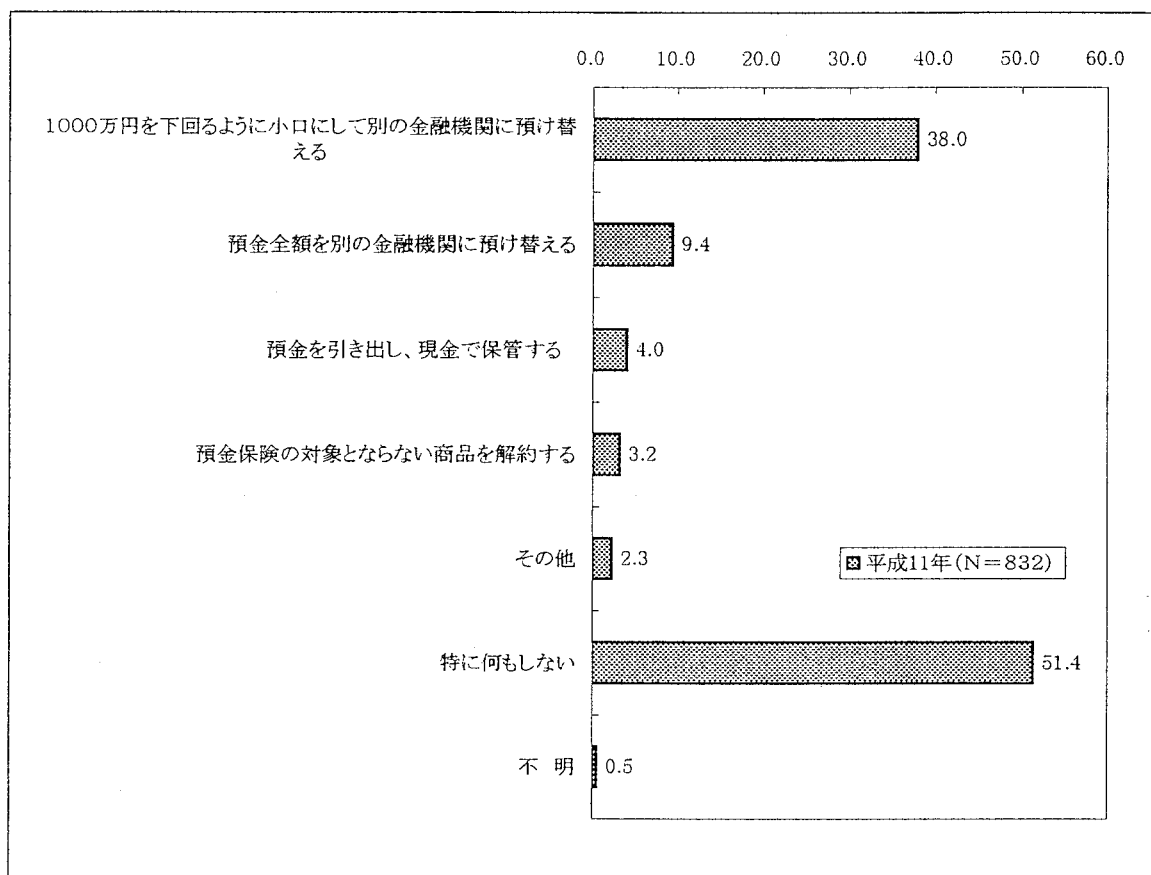
(2) 金融ビッグバンで起こる可能性のあること

『ペイオフ解禁』について「知っている」人に、『預金のうち1000万円を超える部分について、破たん金融機関の残余財産から払い戻しが受けられること』については、「知っている」という回答が51.9%と半数である。



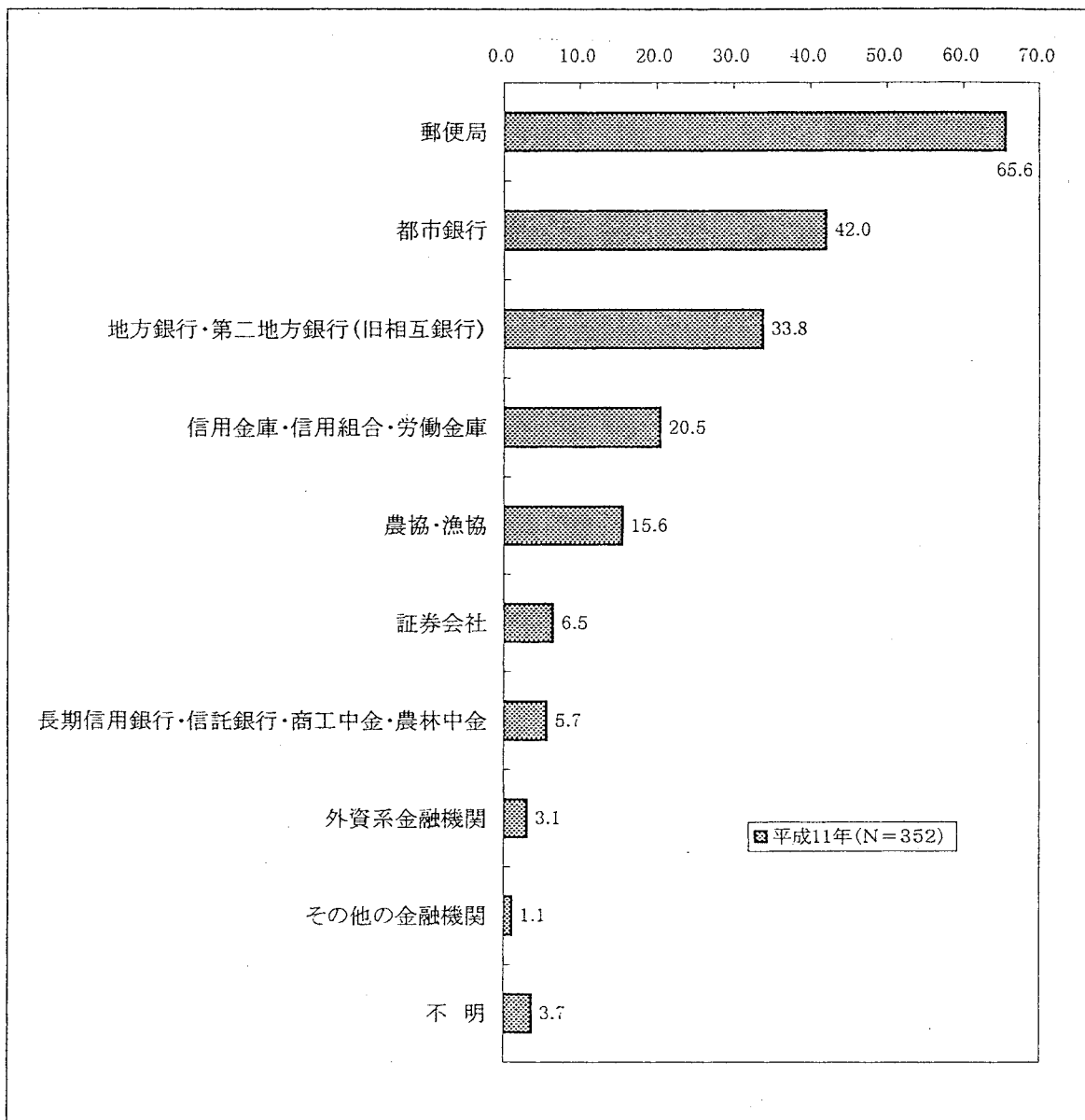
問 22 - 付問 1 ペイオフに備えて実施したこと

ペイオフ解禁に備えて行ったこと、または予定していることについては、「1000万円を下回るように小口にして別の金融機関に預け替える」が38.0%と最も多く、次いで、「預金全額を別の金融機関に預け替える」(9.4%)が1割を下回ってあげられている。「特に何もしない」という回答が51.4%と半数を占めている。



問 22 - 付問 2 預け替え先の金融機関

ペイオフ解禁に備えて別の銀行に預け替えるという人に、預け替えた預け先、または預け替えようとしている預け先を聞いたところ、「郵便局」が65.6%と最も多く、次いで、「都市銀行」(42.0%)、「地方銀行・第二地方銀行」(33.8%)、「信用金庫・信用組合・労働金庫」(20.5%)などが続いている。



7. 金融機関からの情報

問 23 金融機関で教えてほしい情報

金融機関から教えてほしい情報については、「資金の有利な運用について」(32.6%)が最も多く、以下、「金融商品の特徴や種類について」(25.4%)、「税金について」(24.9%)、「老後の生活について」(19.9%)などがあげられている。「特にない」という回答も39.7%と約4割ある。

前回の調査結果と比較すると、これら上位の回答は比率もほぼ同様で変わらない。

